

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
 ※ 市長提出議案目錄（追加分） ※
 ※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

議案番号	件 名	頁	摘 要
報 7	一般社団法人豊岡観光イノベーション第8期の決算及び第9期の事業計画に関する書類について	3	
報 8	豊岡まちづくり株式会社第29期の決算及び第30期の事業計画に関する書類について	15	
報 9	株式会社日高振興公社第30期の決算及び第31期の事業計画に関する書類について	35	
報10	株式会社シルク温泉やまびこ第20期の決算及び第21期の事業計画に関する書類について	55	

報告第 7 号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第 8 期の決算及び第 9 期の事業
計画に関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 6 年 6 月 13 日提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第8期 事業報告

事業の概要と成果

2023 年度は、豊岡市及び企業からの派遣職員を増加して組織体制を強化するとともに、当法人が主体となって、事業に取り組む仕組みを作ったうえで、各種事業を実施しました。それに伴い、豊岡市からの委託業務の多くを廃止、委託料に代わり負担金を収入して、柔軟性と効率性を発揮して観光地マーケティングの活動を行いました。

インバウンド事業については、WEB サイト「Visit Kinosaki」を活用した WEB マーケティング、メディア招聘やメールマーケティングによるメディア情報発信、受入体制強化のための体験プログラムの造成・販売、英語ローカルガイドの養成などを中心に取り組みました。結果、2023 年度の外国人観光客延べ宿泊者数は 69,078 人泊となり、コロナ前の 2019 年度を 25.7%上回ることができました。また、WEB サイト「Visit Kinosaki」を著しく成長させ、閲覧者数（UU）はコロナ前 2019 年度の 2.1 倍、「Visit Kinosaki」経由の宿泊金額は 2019 年度の 5.2 倍となりました。

国内誘客事業については、観光公式サイトを活用した WEB マーケティング、ふるさと納税返礼品として旅行クーポン「豊岡旅幸券」の新規開発と利用促進、体験プログラムの販売に力を入れて取り組みました。観光公式サイトに関しては、新たなコンテンツを 51 本追加して閲覧者の増加に取り組んだ結果、広告を除く閲覧者数は昨年の 2.8 倍と大きく成長、豊岡市での様々な楽しみ方を多くの方に提案することができました。「豊岡旅幸券」については、これまで培ってきたマーケティングのノウハウを生かして取り組んだ結果、「豊岡旅幸券」による寄附額は 1 億 3,646 万円と目標の 1 億円を 36%上回る結果となり、豊岡市のふるさと納税額を押し上げることに貢献しました。

観光 DX 事業については、2021 年度に開発した地域の宿泊予約データを自動収集して図表化するシステム「観光 DX 基盤」を有効利用していただくための勉強会の開催や、分かりやすくポイントを整理したレポート作成と事業者共有に取り組むとともに、日々 LINE で 2 週間先までの観光客の入り込み予測値を配信する新たな取り組みをスタートさせました。このレポートや LINE は、忙しくて時間がない中でも、簡単に状況を把握できると、宿泊施設だけでなく、飲食店や物産店からも好評を得ており、従業員シフトの判断材料や商品、食材等の仕入れ量の調整に活用している事業者が徐々に増えてきています。

これらを継続的に取り組み、事業者の利益アップの支援に引き続き取り組んでまいります。

2023 年度の損益状況は、営業利益 20,036 千円、営業外収益 6,755 千円となり、当期経常利益は 26,404 千円、税引後の当期純利益は、19,925 千円となりました。関係者の皆様方のご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組まれたことをご報告いたします。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

2016 年 6 月 1 日

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 二宮 秀生

副理事長 村上 宣人

副理事長 西上 均

事業本部長 島津 太一

理 事 村瀬 茂高

倉橋 建

川上 晃弘

高宮 浩之

武田 和徳

大社 充

監 事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事、派遣職員） 1 名

派遣職員 5 名

嘱託・臨時職員 6 名

5. 基金拠出額

28,700 千円

決 算 報 告 書

第 8 期

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月 31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション
貸借対照表
2024年 3月31日 現在

単位:円

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	133,964,093	I 流動負債	62,702,760
1 現金	87,912	1 未払金	4,054,933
2 預金	130,157,173	2 未払法人税等	6,479,300
3 貯蔵品	40,000	3 V K 仮受金	19,404,936
4 未収入金	3,660,814	4 旅幸券仮受金	30,905,791
5 仮払金	18,194	5 未払消費税等	1,857,800
II 固定資産	4,853,387	負債合計	62,702,760
1 有形固定資産	522,937	純資産の部	
・一括償却資産	522,937	I 純資産	83,696,489
2 無形固定資産	1,330,450	1 基金	28,700,000
・無形固定資産	1,330,450	2 利益剰余金	54,996,489
3 投資その他の資産	3,000,000	・繰越利益剰余金	54,996,489
・差入保証金	3,000,000		
III 繰延資産	7,581,769	純資産合計	83,696,489
1 繰延資産	7,581,769	負債・純資産合計	146,399,249
資産合計	146,399,249		

(一社)豊岡観光イノベーション

損益計算書

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) V i s i t K i n o s a k i 手 数 料	11,806,337	
2) ツ ア ー 等 売 上 高		
・ 着 地 型 ツ ア ー 、 体 験 プ ロ グ ラ ム	9,742,117	
・ 旅 行 会 社 ツ ア ー	5,805,390	
3) ふ る さ と 納 税 返 礼 品 売 上 高	7,752,650	
4) 視 察 売 上 高	3,928,500	
5) マ ー ケ テ ィ ン グ 売 上 高	1,492,891	
6) 会 費 収 入	1,675,000	小計 42,202,885
7) 負 担 金 収 入		
・ 海 外 誘 客 推 進 負 担 金	21,303,000	
・ 国 内 誘 客 推 進 負 担 金	6,838,000	
・ 機 能 強 化 負 担 金	27,115,000	小計 55,256,000
8) 委 託 料 収 入		
・ 観 光 地 消 費 拡 大 推 進 業 務	6,957,500	
・ 豊 岡 旅 行 ク ー ボ ン 販 促 品 制 作 業 務	789,800	
・ ネ オ カ ル T O Y O O K A W E B 改 善 ・ プ ラ ン 造 成 業 務	1,089,000	
・ フ ラ ッ プ ト ヨ オ カ 管 理 運 営	387,090	
・ そ の 他 業 務 委 託 料	1,923,500	小計 11,146,890
	108,605,775	
II 売 上 原 価		
1) V i s i t K i n o s a k i 関 連 経 費	6,320,672	
2) ツ ア ー 等 関 連 経 費		
・ 着 地 型 ツ ア ー 、 体 験 プ ロ グ ラ ム	6,826,506	
・ 旅 行 会 社 ツ ア ー	4,754,157	
3) 視 察 関 連 経 費	365,474	18,266,809
		90,338,966
III 売 上 総 利 益		
1) 給 料 手 当	12,162,488	
2) 賞 与	4,732,327	
3) 法 定 福 利 費	6,193,751	
4) 福 利 生 費	46,382	
5) 広 告 費	17,441,153	
6) 旅 交 通 費	386,960	
7) 交 際 費	39,646	
8) 会 議 費	452,987	
9) 車 両 費	174,255	
10) 通 信 費	519,433	
11) 水 道 税	310,560	
12) 租 税 課 費	55,620	
13) 消 耗 品 費	1,091,856	
14) 共 益 費	240,000	
15) 賃 借 料	1,392,000	
16) リ ー ス 料	796,224	
17) 修 繕 費	248,116	
18) 保 険 料	96,126	
19) 支 払 手 数 料	2,654,539	
20) 諸 会 費	1,375	
21) 負 担 金	330,000	
22) 減 価 却 費	1,023,797	
23) 委 託 費	16,793,844	
24) 研 修 費	100,000	
25) 消 費 税 等	3,019,300	70,302,739
営業 業 利 益		20,036,227
IV 営 業 外 収 益		
1) 受 取 利 息	983	
2) 市 補 助 金 収 入	0	
3) 国 県 補 助 金 収 入	6,591,545	
4) 雑 収 入	162,715	6,755,243
V 営 業 外 費 用		
1) 雑 損 益	386,636	386,636
経 常 利 益		26,404,834
税 引 前 当 期 純 利 益		26,404,834
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 利 益		6,479,450
		19,925,384

個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法
無形固定資産・・・定額法
 - (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

令和 6年 5月23日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

代 表 理 事

関 貫 久仁郎

理 事

村 上 宣 人

理 事

西 上 均

理 事

島 津 太 一

理 事

村 瀬 茂 高

理 事

倉 橋 建

理 事

川 上 晃 弘

理 事

武 田 和 徳

理 事

大 社 充

理 事

高 宮 浩 之

理 事

米 田 紀 子

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 6年 5月14日

監 事

作 花 良 祐

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第9期 事業計画

事業の概要

9期目となる2024年度は、5本柱の経営戦略を立てて取り組みます。

1つ目は「インバウンド誘客を推進するとともに、高付加価値化・周遊を促進する」です。城崎温泉だけではなく、市内の観光地の認知を高め、周遊を促進します。また合わせて、高付加価値旅行者層へのアプローチを行ってまいります。そのためにホテルコンシェルジュ営業に取り組みます。

2つ目の柱は「国内観光客の周遊とリピートを促進するとともに、新規顧客を開拓する」です。引き続き、観光サイトの流入・回遊の強化に取り組むとともに、昨年度、ふるさと納税返礼品として開発した旅行クーポン「豊岡旅幸券」の「豊岡旅幸」というコンセプトを活用したキャンペーンを新たに展開します。これにより、顧客との結びつきを強めるとともに新規顧客の獲得を狙います。

3つ目の柱は、「観光DXを推進し、地域事業者の稼ぐ力を引き上げる」です。関係人口の創出・拡大を目指して、本格的に観光地CRMに取り組みます。来訪者アンケート回答者や、体験プログラム予約者といった収集できる顧客データを整理するとともに、メールで顧客ニーズにあった情報をタイムリーに届けることで、リピーターを増やし、延泊を促します。また、引き続き、宿泊施設の宿泊予約データを自動収集し、図表化するシステム「観光DX基盤」を活用して、データを分析し、宿泊や飲食、物産などの観光事業者を提供することで、事業者の効率的な経営をバックアップします。

4つ目の柱は、「インナープロモーションに取り組み、協働パートナーを増やす」です。昨年度から実施している市民、市内事業者を対象とした当法人の事業説明会を引き続き、年3回開催します。また、今年度は新たに市民向けに英会話などの出前講座にも取り組むことで、当法人の取り組みを知っていただく機会を増やしていきます。

最後の5つ目は、「組織の基盤強化を進める」です。正職員制度の検討を始めるとともに、研修等を通じて、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。

地域の稼ぐ力を引き出す組織として、益々チャレンジしていきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(一社)豊岡観光イノベーション
 予定損益計算書
 自 2024年 4月 1日
 至 2025年 3月31日

単位:円

科目	金額	備考
I 純 売 上 高		
1) Visit Kinosaki 手数料	15,840,000	
2) ツアー等売上高		
・着地型ツアー、体験プログラム	9,050,000	
・旅行会社ツアー	6,000,000	
3) ふるさと納税返礼品売上高	10,100,000	
4) 視察売上高	1,000,000	
5) マーケティング売上高	1,500,000	
6) 会費収入	1,700,000	小計 45,190,000
7) 負担金収入		
・海外誘客推進負担金	20,000,000	
・国内誘客推進負担金	4,225,000	
・機能強化負担金	26,192,000	小計 50,417,000
8) 委託料収入		
・観光地消費拡大推進	8,941,000	
・フラップトヨオカ管理運営	402,000	小計 9,343,000
	<u>104,950,000</u>	
II 売 上 原 価		
1) Visit Kinosaki 関連経費	9,120,000	
2) ツアー関連経費		
・着地型ツアー、体験プログラム	7,555,000	
・旅行会社ツアー	5,100,000	
3) 視察関連経費	100,000	21,875,000
	<u>100,000</u>	<u>83,075,000</u>
III 売 上 総 利 益		
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費		
1) 給料手当	17,129,000	
2) 賞与	5,637,000	
3) 役員	1,000,000	
4) 法定福利費	7,446,000	
5) 福厚生費	500,000	
6) 広告宣伝費	24,024,000	
7) 旅費	1,510,000	
8) 交際費	300,000	
9) 会議費	400,000	
10) 車両費	180,000	
11) 通信費	500,000	
12) 水道光熱費	360,000	
13) 租税公課	60,000	
14) 消耗品費	600,000	
15) 共益費	240,000	
16) 賃借料	1,392,000	
17) リリース料	797,000	
18) 修繕費	250,000	
19) 保険料	105,000	
20) 支払手数料	3,500,000	
21) 諸費	0	
22) 負担金	330,000	
23) 減価償却費	2,327,000	
24) 委託費	10,341,000	
25) 研修費	2,000,000	
26) 消費税等	3,300,000	84,228,000
	<u>3,300,000</u>	<u>▲ 1,153,000</u>
IV 営 業 外 収 入		
1) 受取利息	1,000	
2) 市補助金収入	0	
3) 国県等補助金収入	8,228,000	
4) 雑収入	50,000	8,279,000
	<u>50,000</u>	<u>8,279,000</u>
経 常 利 益		7,126,000
税 引 前 当 期 純 利 益		7,126,000
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		1,600,000
当 期 純 利 益		<u>5,526,000</u>

報告第 8 号

豊岡まちづくり株式会社第29期の決算及び第30期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 6 年 6 月 13 日 提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

令和6年6月7日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第29期

自 令和 5年4月 1日
至 令和 6年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第29期（令和5年度）事業報告

事業概況

令和5年度は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷といった想定通りの悪材料だけでなく、金融引き締めにもかかわらず堅調な米国経済がもたらす大幅な円安の進行、イスラエル・ハマス戦争など想定外のかく乱要因もあり、非常に厳しい情勢でした。

このような情勢のなかではありますが、積極的に販売活動を展開し、アトリエショップ部門とネット部門あわせた額で、過去最高の売上を計上することができました。

事業全体で売上高は対前年2,694千円増の179,001千円となりました。

売上原価は、対前年1,864千円増の83,596千円でしたが、販売費及び一般管理費について、アトリエショップ部門やアトリエネット部門での広告費の増や、スクール部門での人件費増もあり、全体で対前年7,449千円増の95,286千円となり、それによって営業利益は、部門合計で対前年6,620千円減の118千円となりました。これを主な部門についてみますと、次のとおりです。

（アトリエショップ部門）

一年を通して計画には届かない状況でしたが、昨年同様兵庫県と豊岡市の消費拡大支援事業を活用した、宵田商店街振興組合店舗で使用できる「カバストプレミアム商品券」の効果と、宵田商店街と協力した回遊型イベント、2025年大阪万博フィールドパビリオンに向けた革小物づくり体験、またアルチザン公式LINEも立上げ情報発信等の強化を実施した結果、登録数も年度末には1,000人を超える等何とか盛り返し、売上高は69,137千円と前年同比5,152千円の増加となり、営業利益は1,497千円と前年同比567千円の増加となりました。

（アトリエネット部門）

令和4年度10月から5ヶ月間兵庫県鞆工業組合の事業の「シナジープロジェクト」より助成を受け、実売に繋がる検索広告費を集中的に増強しました。令和5年度は同事業の取り組みである「豊岡鞆公式サイト」のリニューアル構築に協賛し、「豊岡鞆」とともに将来的なブランドの認知拡大を目指すと同時に、自社ECサイト内では「メールマガジン優待」・「会員限定」等のキャンペーンを増強し、お客様と繋がるツールを活用した顧客の増加とサービスの充実を図る広告宣伝費の運用を実施しました。

売上高は77,497千円と前年同比2,389千円の減少となり、営業利益は、551千円で前年同比2,966千円の減少となりました。

（スクールⅠ部門）

宮城から佐賀まで全国から１３名の生徒が入校しました。途中家庭の事情により、１名中退しましたが、感染予防対策をしながらの通常運営と、年度末には前年より実施しております希望者による財布特別講座の開催をしました。売上高は１７，５１６千円で前年同比８８６千円の減少となり、営業利益はマイナス２，８７６千円で前年同比３，９５１千円の減少となりました。１０年目を終え１００数名の若者が豊岡を中心に巣立って行きました。アルチザンスクールでの熱い思いを持って今後も活躍されることを期待しています。

（給食配送事業部門）

豊岡市の委託業務で、令和３年度より令和５年度の３年間契約の最終年度として、１年間学校給食を市内の小学校５校、中学校３校へ遅滞なく安全に届けることが出来ました。

売上高は１４，８５０千円で前年同比８１５千円の増加となり、営業利益は９４６千円で前年同比２７０千円の減少となりました。

給食配送事業部門は、令和５年度をもって終了いたしました。

当社も会社設立から２９年が経ち、また、アルチザン事業を立ち上げて１０年が経過しました。ここまで来られたのも、偏に株主の皆様や関係各位のご理解とご協力のお蔭と感謝申し上げます。今後も更なる業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

（単位：千円）

区 分		第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)	第28期 (令和4年度)	第29期 (令和5年度)
アルチザン事業		124,368	132,755	162,272	164,150
内訳	アトリエ	107,336	113,974	143,870	146,634
	スクール	17,032	18,781	18,402	17,516
学校給食配送事業		14,322	14,885	14,035	14,850
合 計		138,690	147,640	176,307	179,001

◇営業成績の推移

（単位：千円）

区 分	第26期 (令和2年度)	第27期 (令和3年度)	第28期 (令和4年度)	第29期 (令和5年度)
営業利益	4,591	4,322	6,738	118
経常利益	9,933	6,216	7,253	219
当期純利益	7,644	4,870	5,381	8
総資産	137,862	143,082	148,787	147,360
純資産	115,067	119,938	123,483	121,655

2. 会社の概要（現況）

（1） 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

（2） 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	414株

(3) 役員の状況

	役 職 名	役 員 名
1	代表取締役	アダチ テツヒロ 足立 哲宏
2	代表取締役	ユリ ショウザブロウ 由利 昇三郎
3	取 締 役	キヌガワ ヒデオ 衣川 英生
4	取 締 役	ウエムラ ケンジ 植村 賢仁
5	取 締 役	ニシダ マサキ 西田 正樹
6	取 締 役	タニグチ ヒロシ 谷口 啓志
7	取 締 役	ミヤシタ エイジ 宮下 栄司
8	取 締 役	サカモト ナルヒコ 坂本 成彦
9	取 締 役	ウノ タカヤ 卯野 隆也
10	取 締 役	キヌガワ カツノリ 衣川 克典
11	監 査 役	ツカモト シゲキ 塚本 繁樹
12	監 査 役	スズキ マサヒロ 鈴木 政宏

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人数	構成
社 員	8	男 5名、女 3名
パート	14	男 12名、女 2名
合 計	22	

貸 借 対 照 表

令和 6年 3月31日 現在

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 118,068,403】	【流 動 負 債】	【 25,704,796】
現 金 ・ 預 金	95,141,339	買 掛 金	11,902,680
売 掛 金	12,863,888	未 払 費 用	705,892
商 品 ・ 製 品	6,430,418	未 払 金	1,332,670
材 料	393,938	未 払 法 人 税 等	105,500
貯 蔵 品	926,872	未 払 消 費 税 等	4,375,100
仮 払 金	451,100	前 受 金	7,075,000
前 払 費 用	492,800	預 り 金	207,954
前 払 金	670,450		
仮 払 税 金	825,598		
貸 倒 引 当 金	△128,000		
【固 定 資 産】	【 29,291,600】	負 債 合 計	25,704,796
[有 形 固 定 資 産]	[28,961,664]	純 資 産 の 部	
建 物	7,885,180	【株 主 資 本】	【 121,655,207】
建 物 附 属 設 備	4,777,819	[資 本 金]	[91,800,000]
構 築 物	1	[利 益 剰 余 金]	[29,855,207]
工 具 器 具 備 品	15,997,863	(その他利益剰余金)	(29,855,207)
土 地	300,801	繰越利益剰余金	29,855,207
[無 形 固 定 資 産]	[299,936]	(うち当期純利益)	(7,574)
電 話 加 入 権	299,936		
[投 資 そ の 他 の 資 産]	[30,000]		
出 資 金	30,000	純 資 産 合 計	121,655,207
資 産 合 計	147,360,003	負 債 ・ 純 資 産 合 計	147,360,003

損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	164,150,562	
学校給食配送事業収入	14,850,000	179,000,562
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	4,758,084	
仕 入 高	85,662,519	
合 計	90,420,603	
期 末 棚 卸 高	6,824,356	83,596,247
売 上 総 利 益		95,404,315
【販売費及び一般管理費】		95,286,340
営 業 利 益		117,975
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	1,458	
受 取 配 当 金	400	
雑 収 入	848,134	849,992
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	749,393	749,393
経 常 利 益		218,574
税引前当期純利益		218,574
法人税、住民税及び事業税		211,000
当 期 純 利 益		7,574

販売費及び一般管理費

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	40,462,420	
業 務 委 託 費	4,350,585	
法 定 福 利 費	5,045,875	
福 利 厚 生 費	1,814,897	
広 告 宣 伝 費	10,358,753	
運 賃	2,208,251	
旅 費 交 通 費	344,165	
教 材 費	850,396	
車 輦 管 理 費	1,775,124	
通 信 費	330,105	
水 道 光 熱 費	1,195,710	
租 税 公 課	709,900	
消 耗 品 費	2,616,524	
事 務 費	921,977	
賃 借 料	545,460	
車 輦 賃 借 料	1,497,518	
減 価 償 却 費	5,298,100	
修 繕 費	7,273	
保 険 料	874,710	
支 払 手 数 料	12,643,215	
負 担 金	181,020	
リ ー ス 料	566,018	
交 際 費	178,580	
会 議 費	17,289	
寄 附 金	500	
雑 費	470,975	
貸倒引当金繰入	21,000	95,286,340
合 計		95,286,340

部 門 別 損 益

自令和 5年 4月 1日 至令和 6年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ ショップ部門	アルチザン・ アトリエ ネットショップ部門	アルチザン・ スクール①部門	学校給食配送 事 業 部 門
I 売 上 高	179,000,562	69,137,286	77,496,780	17,516,496	14,850,000
II 売 上 原 価	83,596,247	40,070,102	43,526,145	0	0
III 売 上 総 利 益	95,404,315	29,067,184	33,970,635	17,516,496	14,850,000
IV 販売費及び一般管理費	95,286,340	27,570,399	33,419,354	20,392,434	13,904,153
V 営 業 利 益	117,975	1,496,785	551,281	△ 2,875,938	945,847

株主資本等変動計算書

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		繰越利益剰余金	利 益 剰 余 金		
			繰越利益剰余金合計		
当期首残高	91,800,000	31,683,633	31,683,633	123,483,633	123,483,633
当期変動額					
剰余金の配当		△ 1,836,000	△ 1,836,000	△ 1,836,000	△ 1,836,000
当期純利益		7,574	7,574	7,574	7,574
当期変動額合計	0	△ 1,828,426	△ 1,828,426	△ 1,828,426	△ 1,828,426
当期末残高	91,800,000	29,855,207	29,855,207	121,655,207	121,655,207

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位：円)

個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 21,496,160円

(2) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を
控除しております。(第18期、第19期及び第20期)

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	15,864,801円
計	138,925,090円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

(2) 配当に関する事項

① 配当金支払額

株式の種類	普通株式
決議	令和5年6月6日開催 定時株主総会
配当金の総額	1,836,000円
1株当たり配当額	1,000円
基準日	令和 5年 3月31日
効力発生日	令和 5年 6月 7日

別紙の通り報告致します。

令和 6年 6月 7日

豊岡まちづくり株式会社

代表取締役 社 長	足 立 哲 宏
代表取締役副社長	由 利 昇三郎
取 締 役	衣 川 英 生
取 締 役	植 村 賢 仁
取 締 役	西 田 正 樹
取 締 役	谷 口 啓 志
取 締 役	宮 下 栄 司
取 締 役	坂 本 成 彦
取 締 役	卯 野 隆 也
取 締 役	衣 川 克 典

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

令和 6年 5月14日

監 査 役	塚 本 繁 樹
監 査 役	鈴 木 政 宏

監 査 報 告 書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第29期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条の定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限は有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

令和6年5月14日

監 査 役

鈴木 政宏

塚本 繁樹

第30期（令和6年度）事業計画及び収支計画

1 計画概要

令和6年度の当社の事業としましては、アルチザン事業のアトリエショップ部門、アトリエネット部門、及び鞆職人養成のスクールI部門の1事業3部門に取り組みます。

本年度はアルチザン事業を立ち上げて10年が経過しました。周年イベントを最大限に活用し、基幹事業である豊岡鞆を引き続き全国へ情報発信すると共に、更なる集客・販売に向けて、鞆企業の方々と連携して参ります。

ただし、円安・価格高騰など引き続き厳しい状況にあるため、慎重に対応し取り組んで参ります。

2 アルチザン事業

（アトリエショップ部門）

2024年4月から豊岡鞆専門店となったことで、兵庫県鞆工業組合の事業との連携をより深めていきます。また2025年の万博等を見据えた運営と周年イベントを重点に考え、取り組んでいきます。更に回遊型イベント等の実施や、産地ならではの本格的な体験ができるワークショップの開催、またLINEツールを活用した販売促進等を実施し、集客に繋がられるよう運営してまいります。

純売上高としましては、対前年12,863千円増の82,000千円を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は、対前年1,049千円増の28,619千円と見込み、営業利益は対前年4,652千円増の6,149千円と想定しております。

（アトリエネット部門）

引続きお客様への細やかな接客・サービス、商品在庫の確保、商品の魅力訴求で信頼を高めてまいります。また各種コンテンツの充実で自然検索数を更に増やしつつ、効果的な広告宣伝の活用で来訪者・会員数を伸ばす取り組みを行い、豊岡鞆とともにブランディング力を拡大させると同時に、周年イベントと連動させ、実店舗への誘導、認知拡大を目的としたキャンペーンを数多く実施いたします。

純売上高は、対前年26,203千円増の103,700千円を見込んでおります。また、販売費及び一般管理費は対前年8,931千円増の42,350千円と見込み、よって営業利益は対前年1,068千円増の1,619千円と想定しております。

(スクールⅠ部門)

令和6年度のアルチザンスクールには、定員13名に対し、全国各地から11名が入校しました。1年後には豊岡の靴業界の戦力になっていくものと期待しております。

また、令和6年度より靴縫製者トレーニングセンターへ講師が出向し、指導にあたることにより、更なる技術面での向上が期待できることと同時に、授業料収入増も見込めると考えております。昨年度に引続き、財布オプション講座の実施も予定しております。

収益につきまして、授業料等収入は対前年1,216千円減の16,300千円となり、販売費及び一般管理費は対前年1,636千円減の18,756千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年420千円増のマイナス2,456千円と想定しております。

3 総合収支計画

総合では、純売上高は全体で売上増を見込み、対前年22,999千円増の202,000千円と想定しております。売上原価は対前年23,367千円増106,963千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年5,561千円減の89,725千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年5,194千円増の5,312千円と想定しております。

ただし、引続き困難な運営が予想されます。

少しでも目標の利益が確保できるよう、役職員一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましても引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第30期 令和6年度収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第29期	第30期					備 考
	総 合	対前期 増減	総合(合計)	アトリエ部門 ショップ	アトリエ部門 ネット	スクール部門 I	
純売上高	179,001	22,999	202,000	82,000	103,700	16,300	
売上原価	83,596	23,367	106,963	47,232	59,731	0	
販売管理費	95,286	△ 5,561	89,725	28,619	42,350	18,756	
営業利益	118	5,194	5,312	6,149	1,619	△ 2,456	
営業外収益	850	△ 850	0	0	0	0	
営業外費用	749	△ 749	0	0	0	0	
経常利益	219	5,093	5,312	6,149	1,619	△ 2,456	
特別利益	0	0	0	0	0	0	
特別損失	0	0	0	0	0	0	
税引前純利益	219	5,093	5,312	6,149	1,619	△ 2,456	

報告第 9 号

株式会社日高振興公社第30期の決算及び第31期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 6 年 6 月 13 日 提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

決算等の状況の報告

株式会社 日高振興公社

株式会社日高振興公社 第30期 事業報告

1 事業の経過および成果

当事業年度における国内経済をみると、コロナ禍から緩やかな回復基調が続く中で、観光業やサービス業が徐々に回復しました。特に外国人観光客の増加が経済にプラスの影響を与えた一方で、労働者不足という課題に直面しました。また、中東やウクライナの情勢はエネルギー価格の変動を引き起こし、それが日本の輸入コストの増加に繋がり、ひいては企業の生産コスト、さらには消費者物価にまで大きく影響しました。

令和5年度の神鍋高原の夏季観光客の入込状況は、教育・文化・スポーツ合宿の再開により入込が増え、約13万3千人（前年度約12万2千人）、前年度比109%となりました。一方で冬季は、降雪に恵まれず、神鍋高原スキー場は約3万8百人（前年度約8万4千人）、前年比37%となりました。弊社の12月から3月までの総売上は、5,449万円（前年5,805万円）、前年比94%となりました。その期間、経済支援クーポンは107万円（前年1,328万円）、前年比8%となりました。

このような状況の下、当社は「地域と共に創る個性ある道の駅」を目指し、取り組んで参りました。

従業員の職務能力向上を図るため、兵庫県内の道の駅や直売所の意見交換やコンサルタントによるアドバイス、山陰海岸ジオパーク内の地元企業・高等学校・生産者等との連携強化により、店舗展開（集客・客単価アップ）や「個性ある道の駅づくり」のための研修を行いました。

また、毎月開催している社員会議では、部門ごとに経費実態（部門別管理表・ランニングコスト推計表等）を月次検討し、部門別の課題の抽出を行いました。

さらに、イベント計画・商品開発・設備投資計画等、勉強会を適時実施しました。特に、当事業年度は経費削減、労務改善の実施、アフターコロナに向けた運営等についても全従業員で取り組みました。

○来客数

道の駅「神鍋高原」	111,658人（前年度比：103%	3,696人）
神鍋温泉ゆとろぎ	52,113人（前年度比：89%	△6,538人）

結果、当事業年度における業績は、

売上高	189,895千円（前年度比：103%	6,302千円）
営業利益	△7,665千円（前年度比：—%	△2,651千円）
経常利益	△5,972千円（前年度比：—%	△3,706千円）
当期純利益	△6,183千円（前年度比：—%	△3,707千円）

（前年度：△2,476千円）となりました。

（１）道の駅「神鍋高原」

① 売店部門

当事業年度も物価高騰による価格改定が続き、廃番商品も増え、品揃えにも影響がでました。さらに、兵庫県の家計応援キャンペーンのはばタン Pay プラス等、経済支援クーポンの利用が 754 千円（前年度比 6%）となり、大幅に減少しました。

情報発信として、テレビでは、6 月に朝日放送「アタック 25NEXT」にて谷原章介さんに神鍋高原キャベツを丸かじりしてもらい、高原キャベツの魅力を発信して頂きました。9 月に ABC テレビ「news おかえり」や 11 月に旅雑誌「旅色」の取材にてトリンドル玲奈さんに特産品を紹介していただきました。

商品開発として、7 月に神鍋産ブルーベリー使用した「神鍋ブルーベリーアイスメロンパン」の販売を開始しました。12 月からは神鍋 3 箇所の「神鍋スキーリフト券」の取り扱いを開始し、温泉やお食事付のお得なセット券も併せて販売しました。10 月から新米フェアを実施し、レストランとの連携で神鍋のお米を PR し販売強化を行いました。

新たな取り組みとして、4 月に日高・但馬農業高校や地元企業との連携し、前年よりも、内容を充実させた、「道の駅の日イベント」を開催しました。また、現金以外の決済方法として、QR 決済の導入を行い、9 月からはばタン Pay プラス、12 月から PayPay の取り扱いを始め、利用者には大変好評でした。

さらに、下記の商品を道の駅「神鍋高原」のおすすめ商品と位置付け、ポスターや SNS 等と連動し、他店舗との差別化を図りました。

○ほんまもん神鍋	年間販売数：11,775 個	売上金額：7,217 千円
○高等学校商品	年間販売数：7,046 個	売上金額：1,663 千円
○キャベツチップ	年間販売数：2,658 個	売上金額：1,428 千円
○神鍋山荘するめ糍漬け	年間販売数：701 個	売上金額：771 千円
○コウノトリ育むお米	年間販売数：461 個	売上金額：1,321 千円
※年間販売数量の多い順番に並べています。		

② 飲食部門

毎年 7 月・8 月に開催する「全但バス神鍋線利用促進イベント」の「神鍋 BeerNight」を開催し、客数 325 名、売上金額 1,014 千円、バス乗客約 100 名、昨年より約 38 名増、売上金額 556 千円増、前年比 224%とより賑わいを取り戻してきました。また、経営改善の為、コンサルタントの指導により、料理内容及び仕入れの見直し、原価意識の向上を図りました。

平日の利用促進として、10 月より月替わりメニューを開始し、新米メニュー、神鍋野菜の豚汁定食、神鍋清流サーモン丼を展開。さらに節分には恵方巻を PR し、神鍋清流サーモンを使った太巻きを販売した結果 118 本の予約をいただくなど地元の食材を中心にした料理の提供を行い販売しました。また、レストランの一部を共有スペースとして貸し出し、ミーティングや出張ワークに利用していただき、10 月には豊岡市主催の「豊岡ファンミーティング」にて、地産地消料理でおもてなしをさせて

いただきました。

土、日、祝日のランチビュッフェは順調で1年間を通して営業できました。客数15,027名（前年比133%）、売上金額17,300千円（前年比139%）となり、昨年より客数3,687名増加、売上金額4,840千円増加となりました。また、原材料の高騰により、1月から大人・シルバー料金の値上げも行いましたが、メニューにも地元の食材を多用することにより「食」による魅力発信に努めました。

新たな取り組みとして、9月より業務委託により広報を強化し、料理撮影やレシピ開発、ポスターやSNSでの情報発信を積極的に行いました。10月にホームページをリニューアルし、団体向けメニューや新商品の情報発信を行い、2月より予約サイト「じゃらん」に登録しました。また、スノーシーズンではスキーリフト稼働日に併せて夜営業を実施し売上確保に尽力しましたが、雪不足で結果は出ませんでした。

1年を通して、季節感、イベント感を全面に出すことをテーマに掲げたレストランに変えつつあります。

（２） 神鍋温泉ゆとろぎ

当事業年度は、6月にレジオネラ菌発生により、約1か月の休業となり、営業にも大きく影響しましたが、売上金額は前年とほぼ同じ数値まで回復しました。菌の発生には十分注意し、衛生管理を徹底していきます。

当年度も物価高騰により、経営を圧迫していた燃料費は前年度比81%、1,658千円を削減しました。特に木質ペレットの使用量を増やし、ガス燃焼時間の短縮によりガス使用量を前年度比61%削減し、燃料費削減に繋がりました。さらに7月から温泉の入浴料を現行の700円から800円に値上げを行いました。また、水道光熱費は前年度比80%、1,536千円削減が出来ました。

スキー場は前年に比べ積雪量が少なく、営業日数31日（前年度比44%）となり、「スキーリフト券利用者割引」の利用者も2,154名（前年比41%）と前年より大幅に減少しましたが、グリーンシーズンの「神鍋高原キャンプ場利用者割引」5,959名（前年比173%）と前年より大幅に利用者が増えました。定番の「JAFカード会員割引」6,318名、「あいカード会員割引」3,856名、「フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫神鍋高原利用者割引」877名など、提携した割引サービスには一定の効果がありました。

入浴以外の売上金額3,678千円（前年比105%）となり、昨年より166千円増加となりました。ドリンクや食品販売の取り扱い数量を増やし、食品以外もコウノトリ育むお米を使用したシャンプーや入浴コスメ類、サウナグッズなどの充実に加え、入浴後に利用いただく高性能なマッサージチェアを導入し誘客に努めました。

新たな取り組みとして、9月から季節感のあるお茶の振舞い、12月よりQR決済のPayPayを導入しました。1月以降、玄関前にイルミネーションを設置し、2月からはメンズデーとして、サウナの室温を5度上げたり、レディースデーとして、特別なアメニティを設置し、サービス向上に努めました。また、新規顧客の取り込みの為

に、LINE 登録キャンペーンを行い、集客に繋げることができました。また、客単価アップを目標に湯上り後の飲食に力を入れ、31 アイスクリーム、コンビニ仕様の売店商品等、キャンプ客、他県からの来客向けの附帯販売に力をいれました。サウナ室の改善にも注力し、ヒノキ板の入れ替え等で利用者サービスを意識しサウナブームによる若者の利用促進につなげました。

2 事業実績

売上高の推移

単位：千円

区 分	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期	第 30 期
売店部門	107,315	113,343	107,367	117,447	117,441
飲食部門	32,510	17,835	21,622	24,576	30,270
温泉部門	37,654	33,477	39,483	37,343	37,857
市受託料	3,954	3,969	4,024	4,227	4,327
合 計	181,433	168,624	172,496	183,593	189,895

営業成績、財産状況の推移

単位：千円

区 分	第 26 期	第 27 期	第 28 期	第 29 期	第 30 期
経常利益	△3,195	3,592	2,302	△2,266	△5,972
当期純利益	△2,600	3,304	1,572	△2,476	△6,183
総資産	34,296	70,317	72,338	70,580	35,207
純資産	22,597	25,901	27,472	24,996	18,813

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	36,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	720 株
うち豊岡市保有分	400 株

(3) 役員の状況

役職名	役員名
代表取締役	岡 森 且 哉
専務取締役	池 田 敬 一
取 締 役	柳 沢 和 男
取 締 役	西 田 清
取 締 役	村 上 勝 幸
取 締 役	岡 藤 泰 明
監 査 役	米 田 紀 子
監 査 役	玉 置 孝 至

(4) 従業員の状況

区 分	人 数
正 社 員	5 人
パート社員等	23 人
合 計	28 人

決 算 報 告 書

第 30 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 日高振興公社

兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

貸 借 対 照 表

(単位：円)

株式会社 日高振興公社

令和 6年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 30,798,469】	【流 動 負 債】	【 16,393,392】
現金及び預金	27,459,855	買 掛 金	1,473,152
売 掛 金	1,485,272	受 託 未 払 金	3,007,845
商 品	722,293	未 払 金	9,238,939
原 材 料	718,125	預 り 金	157,156
貯 蔵 品	348,772	預 り 敷 金	100,000
未 収 入 金	64,152	法人税等充当金	212,000
【固 定 資 産】	【 4,408,270】	未 払 消 費 税	2,204,300
(有形固定資産)	(3,073,919)	負 債 の 部 計	16,393,392
建 物	2,282,010	純 資 産 の 部	
建物付属設備	1	【株 主 資 本】	【 18,813,347】
車両運搬具	2	[資 本 金]	[36,000,000]
工具器具備品	469,448	[利 益 剰 余 金]	[Δ17,186,653]
一括償却資産	322,458	利 益 準 備 金	9,000,000
(無形固定資産)	(1,334,351)	(その他利益剰余金)	(Δ26,186,653)
ソフトウェア	1,334,351	繰越利益剰余金	Δ26,186,653
		純 資 産 の 部 計	18,813,347
資 産 の 部 計	35,206,739	負債・純資産の部計	35,206,739

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 店 売 上	117,440,530	
市事業委託料等	4,327,152	
レストラン売上	30,269,616	
温 泉 売 上	37,857,245	189,894,543
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,030,130	
仕 入 高	84,850,212	
材 料 費	12,352,440	
合 計	98,232,782	
期 末 棚 卸 高	1,440,418	96,792,364
売 上 総 利 益		93,102,179
【販売費及び一般管理費】		100,767,576
営 業 利 益		△7,665,397
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	425	
雑 収 入	1,693,391	1,693,816
経 常 利 益		△5,971,581
税引前当期純利益		△5,971,581
法人税等充当額		211,059
当 期 純 利 益		△6,182,640

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	5,554,200	
給 料 手 当	32,628,579	
福 利 厚 生 費	6,275,706	
雑 給	9,070,132	
シルバー委託費	2,101,968	
広 告 宣 伝 費	2,802,511	
運 賃	122,118	
燃 料 費	6,952,835	
衛 生 費	4,936,617	
業 務 委 託 費	1,369,500	
一括資産償却費	161,228	
水 道 光 熱 費	12,692,567	
会 議 費	121,684	
事 務 費	1,585,601	
消 耗 品 費	2,931,639	
地 代 家 賃	38,100	
支 払 保 険 料	566,780	
修 繕 費	1,846,361	
租 税 公 課	4,412,100	
減 価 償 却 費	708,439	
接 待 交 際 費	122,915	
旅 費 交 通 費	65,430	
通 信 費	283,558	
支 払 手 数 料	2,421,710	
賃 借 料	307,216	
諸 会 費	470,715	
購 読 費	60,197	
雑 費	157,170	
合 計		100,767,576

株主資本等変動計算書

株式会社 日高振興公社

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

(単位:円)

		株 主 資 本							株 主 資 本 計 合	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
		株 本			資 産							
		資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金	そ の 他 の 資 本 剰 余 金	自 己 株 式				
当 期 首 残 高		36,000,000				9,000,000	△20,004,013		24,995,987			24,995,987
当 期 変 動 額												
当 期 純 利 益							△6,182,640		△6,182,640			△6,182,640
当 期 変 動 額 合 計							△6,182,640		△6,182,640			△6,182,640
当 期 末 残 高		36,000,000				9,000,000	△26,186,653		18,813,347			18,813,347

	利益剰余金の内訳	
	利益準備金	繰越利益剰余金
当期末残高	9,000,000	△11,004,013
当期変動額		
当期純利益		△6,182,640
当期変動額合計		△6,182,640
当期末残高	9,000,000	△17,186,653

個 別 注 記 表

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 日高振興公社

至 令和 6年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品・貯蔵品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に

取得した建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……38,049,751円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数……720株

当事業年度末日における自己株式の数……0株

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額……26,129円64銭

1株当たりの当期純利益……△8,587円00銭

監 査 報 告

私監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第30期事業年度における貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注表、事業報告および附属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 6年 5月20日

監 査 役 米 田 紀 子

監 査 役 玉 置 孝 至

報 告 書

上記のとおりご報告申し上げます。

令和 6年 6月 3日

株式会社 日高振興公社

代表取締役社長 岡 森 且 哉

専務取締役 池 田 敬 一

取 締 役 柳 沢 和 男

取 締 役 西 田 清

取 締 役 村 上 勝 幸

取 締 役 岡 藤 泰 明

株式会社 日高振興公社 第31期（次期）事業計画及び予定損益計画

事業計画

1993年に正式運用がスタートした国土交通省が所管する施設「道の駅」は、休憩・情報発信施設から地方創生の中心拠点へと変化を遂げてきました。近年では、「地域連携」の機能が重視され、地域の特産品やサービスを展開する地方創生の拠点となっています。

地方創生の中心拠点となっている道の駅は、情報発信、休憩、地域連携の3つの機能を有しており、この3要素が融合して「地域と共に創る個性豊かなにぎわいの場」が整備されています。

「道の駅神鍋高原」においても、来期2025年の新装オープンに向けて機能強化、地域連携強化を図りつつ、「機能の拡充によるハード・ソフト双方の拡充」に焦点を当て、天候に左右されない経営基盤の確立を進めていくことに注力します。

重点・機能のまとめ

① 産業振興	地域の特産品を活かした農業振興
② 地域福祉	地域の高齢化に対応した UT（ユニバーサルツーリズム）
③ 交通結節点	公共交通の結節点として地域住民に交通サービスを提供
④ 防災	災害時に高度な防災機能を発揮する道の駅としての機能
⑤ 観光総合窓口	地域の魅力を発信する機能（地域限定旅行業）
⑥ インバウンド観光	新たな顧客需要を発信する体験型企画販売
⑦ 地方移住促進	移住者の受入、ふるさと納税推進に貢献する道の駅
⑧ 交流・連携	イベントを中心とした交流、他のエリアとの連携

1. 売店

a) 産直販売

- 神鍋周辺の農産物の売上増大を可能にする（誘客との連携）
- 消費者に生産者の顔が見える売場づくり（マルシェの実施）
- 生産者（ふれあいふぁーむ友の会）との連携と生産拡大

b) お土産品販売

- PB商品の開発、他の道の駅との差別化
- 花、苗などの販売強化
- 米、野菜等の加工品を使った総菜販売計画

- WEB 販売：ふるさと納税開始 7 月、神鍋粉販売
- 観光客、インバウンド向け商品の拡充
- コラボ商品計画

2. レストラン（お食事処）

- 地元野菜に特化したメニュー（ビュッフェ、定食）
- 月替わりメニューで平日の来店数を増やす
- 団体、弁当等予約販売強化
- ランチ営業後の喫茶営業への対応

3. 温浴（ゆとろぎ温泉）

- サウナ施設の整備、空間づくり
- マッサージ等の附帯サービスの導入
- 季節を感じるおもてなしイベント
- 健康志向の高まりを意識した湯上りの充実

4. テナント

a) Pain de “A”

- 通年行われるイベントに合わせた商品づくりを依頼し協働していく
- 道の駅にあるパン屋である特色を生かし、朝食サービス、軽食への商品提供を深める

予定損益計画

予定損益計算書

自 令和 6 年 4 月 1 日

株式会社 日高振興公社

至 令和 7 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		円
【売上高】		
売 上	223,630,000	
受 託 料 等	4,300,000	
		227,930,000
【売上原価】		
期 首 棚 卸 高	1,440,418	
仕 入 高	93,800,000	
材 料 費	16,252,000	
合 計	111,492,418	
期 末 棚 卸 高	1,440,418	110,052,000
売 上 総 利 益		117,878,000
【販売及び一般管理費】		109,555,000
営 業 利 益		8,323,000
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受 取 利 息		
雑 収 入		700,000
【営業外費用】		
支 払 利 息 等		
雑 損 失		
経 常 利 益		9,023,000

予定販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 6 年 4 月 1 日

株式会社 日高振興公社

至 令和 7 年 3 月 31 日

科 目	金 額	
		円
役 員 報 酬	5,990,000	
給 料 手 当	34,010,000	
退職給与引当金戻入	0	
福 利 厚 生 費	6,300,000	
雑 給	9,000,000	
シ ル バ - 委 託 費	2,150,000	
広 告 宣 伝 費	3,000,000	
運 賃	110,000	
燃 料 費	7,500,000	
衛 生 費	6,500,000	
水 道 光 熱 費	13,800,000	
一 括 資 産 償 却 費	800,000	
会 議 費	100,000	
事 務 費	1,500,000	
消 耗 品 費	3,591,000	
地 代 家 賃	40,000	
支 払 保 険 料	600,000	
修 繕 費	3,000,000	
租 税 公 課	4,129,000	
減 価 償 却 費	1,000,000	
接 待 交 際 費	200,000	
旅 費 交 通 費	150,000	
通 信 費	250,000	
支 払 手 数 料	3,480,000	
貸 借 料	1,700,000	
諸 会 費	480,000	
購 読 費	55,000	
雑 費	120,000	
合 計		109,555,000

報告第10号

株式会社シルク温泉やまびこ第20期の決算及び第21期の事業計画に
関する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和6年6月13日提出

豊岡市長 関 貫 久 仁 郎

決算等の状況の報告

株式会社 シルク温泉やまびこ

第 20 期事業報告及び決算報告

1 事業の経過及び成果

2023 年5月8日に新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限が解除されたことに伴い、積極的営業活動を再開し、その効果もあり、当期予算、前期実績ともに上回ることができました。経営方針でもあります「顧客満足度の向上」では、取組みの成果が現れ、宿泊予約サイトの口コミ満足度 4.6 を維持することができました。

具体的に宿泊、売店部門では、ターゲットを女性とした情報発信や高機能ドライヤーの全室設置、館内移動時にご利用いただけるPPバッグの設置などを行い、お客様から好評を得ています。温泉では、入場制限せずに営業することができ、利用者数が前期比 6.3%の増加となりました。アウトドアについても順調に利用者数を伸ばすことができ、前期比 14.5%増加しました。管理部門では経費削減と利益確保に取り組みました。

主な部門の結果については以下のとおりです。

結果

総売上	391,313 千円	前期比	101.6%	
営業利益	2,513 千円	前期	△6,087 千円	
純利益	6,738 千円	前期比	186.2%	となりました。

主な部門の売上及び利用者数

宿泊	212,598 千円	前期比	93.8%	11,546 人	前期比	92.9%
休憩	25,397 千円	前期比	158.9%	3,659 人	前期比	142.5%
売店	41,283 千円	前期比	95.3%	30,848 人	前期比	92.9%
温泉	78,176 千円	前期比	118.2%	115,033 人	前期比	106.3%
自然の郷	10,786 千円	前期比	107.8%	1,608 人	前期比	85.3%
アウトドア	13,769 千円	前期比	106.6%	4,215 人	前期比	114.5%

となりました。

販売管理費におきましては、水道光熱費 24,113 千円 前期比 83.4%、燃料費 17,834 千円 前期比 111.4%、衛生費 12,731 千円 前期比 103.7%、支払手数料 16,592 千円 前期比 127.6%、国のキャッシュレス化推進により支払手数料が 3,589 千円増嵩しました。

また、お客様により喜んでいただけるよう、ホール及びトイレの模様替えを行いました。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

区 分	第 18 期	第 19 期	第 20 期
宿泊部門 (休憩含む)	173,993	242,540	237,995
売店部門	36,712	43,308	41,283
温泉部門	58,953	66,162	78,176
自然の郷部門	9,811	10,010	10,786
アウトドア部門	8,795	12,921	13,769
業務委託部門	6,255	6,921	5,759
自販機売上	2,608	3,297	3,545
合 計	297,127	385,159	391,313

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

区 分	第 18 期	第 19 期	第 20 期
営 業 利 益	△26,896	△6,087	2,513
当 期 純 利 益	9,707	3,618	6,738
総 資 産	133,258	141,212	145,588
純 資 産	90,153	93,772	100,510

3 会社の概要

(1) 資本金

資本金	50,000,000 円
-----	--------------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,000 株
うち豊岡市保有分	510 株

(3) 役員の状況

役 職 名	役 員 名
代表取締役	岸 本 直 幸
取 締 役	大 井 靖 夫
取 締 役	大 岸 和 義
取 締 役	持 田 淳
取 締 役	羽 尻 智 子
監 査 役	米 田 紀 子
監 査 役	守 本 徹 宏

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人 数	構 成
社 員	16	男性 9 人、女性 7 人
パート・契約	20	男性 5 人、女性 15 人
計	36	男性 14 人、女性 22 人

決 算 報 告 書

第 20 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

貸 借 対 照 表

(単位：円)

株式会社 シルク温泉やまびこ

令和 6年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 117,653,083】	【流 動 負 債】	【 26,328,733】
現金及び預金	97,566,943	買 掛 金	9,929,663
売 掛 金	12,171,477	未 払 金	11,458,942
商 品	2,107,511	預 り 金	1,692,428
貯 蔵 品	1,948,272	法人税等充当金	602,500
未 収 入 金	3,795,880	未 払 消 費 税	2,645,200
前 払 費 用	63,000	【固 定 負 債】	【 18,750,000】
【固 定 資 産】	【 27,935,285】	長 期 借 入 金	18,750,000
(有形固定資産)	(26,671,082)	負 債 の 部 計	45,078,733
建 物	12,492,144	純 資 産 の 部	
建物付属設備	2,637,401	【株 主 資 本】	【 100,509,635】
構 築 物	7,048,939	[資 本 金]	[50,000,000]
車 両 運 搬 具	1	[利 益 剰 余 金]	[50,509,635]
工 具 器 具 備 品	1,632,281	利 益 準 備 金	12,500,000
一括償却資産	2,860,316	(その他利益剰余金)	(38,009,635)
(無形固定資産)	(604,203)	退職給付積立金	1,000,000
敷 金	126,000	別 途 積 立 金	29,000,000
ソフトウェア	478,203	繰越利益剰余金	8,009,635
(投資その他の資産)	(660,000)	(うち当期純利益)	(6,738,113)
出 資 金	660,000	純 資 産 の 部 計	100,509,635
資 産 の 部 計	145,588,368	負債・純資産の部計	145,588,368

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
【売 上 高】		
宿 泊 売 上 高	237,995,103	
売 店 売 上	41,282,716	
温 泉 売 上	78,175,870	
自 然 の 郷 売 上	10,786,000	
ア ウ ト ド ア 売 上	13,769,083	
業 務 委 託 売 上	5,758,800	
自 販 機 売 上	3,545,277	391,312,849
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,236,336	
仕 入 高	133,442,664	
飲 料 仕 入	5,407,784	
合 計	140,086,784	
期 末 棚 卸 高	2,107,511	137,979,273
売 上 総 利 益		253,333,576
【販売費及び一般管理費】		250,821,057
営 業 利 益		2,512,519
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	2,230	
雑 収 入	5,026,275	5,028,505
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息 ・ 割 引 料	188,970	188,970
経 常 利 益		7,352,054
【特 別 利 益】		
国 庫 補 助 金 収 入	3,618,594	3,618,594
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 売 却 除 却 損	11,200	
固 定 資 産 圧 縮 損	3,618,594	3,629,794
税 引 前 当 期 純 利 益		7,340,854
法 人 税 等 充 当 額		602,741
当 期 純 利 益		6,738,113

販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 5年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 令和 6年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	6,400,000	
給 料 手 当	81,044,522	
法 定 福 利 費	13,146,796	
福 利 厚 生 費	2,340,639	
雑 給	255,407	
シルバー委託費	8,465,437	
広 告 宣 伝 費	1,623,040	
運 賃	69,858	
サ ー ビ ス 費	3,339,653	
燃 料 費	17,834,487	
衛 生 費	12,730,530	
リ ー ス 料	147,400	
外 注 費	19,556,805	
水 道 光 熱 費	24,112,953	
事 務 費	1,746,355	
消 耗 品 費	4,285,609	
地 代 家 賃	756,000	
支 払 保 険 料	610,110	
修 繕 費	13,975,219	
租 税 公 課	11,380,530	
減 価 償 却 費	3,996,551	
接 待 交 際 費	372,035	
旅 費 交 通 費	109,251	
通 信 費	1,055,580	
支 払 手 数 料	16,592,052	
賃 借 料	2,872,044	
諸 会 費	500,546	
購 読 費	108,099	
雑 費	1,393,549	
合 計		250,821,057

株主資本等変動計算書

株式会社 シルク温泉やまびこ (単位: 円) 自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月 31日

	株 本			資 本			株 主 資 本 合 計	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金	利 益 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式				
当期首残高	50,000,000						93,771,522			93,771,522
当期変動額										
当期純利益							6,738,113			6,738,113
当期変動額合計							6,738,113			6,738,113
当期末残高	50,000,000						100,509,635			100,509,635

	利 益 剰 余 金			の 内 誤		
	利 益 準 備 金	退 職 給 付 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 金	利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計
当期首残高	12,500,000	0	25,000,000	6,271,522	43,771,522	43,771,522
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替		1,000,000	4,000,000	45,000,000	0	0
当期純利益				6,738,113	6,738,113	6,738,113
当期変動額合計		1,000,000	4,000,000	1,738,113	6,738,113	6,738,113
当期末残高	12,500,000	1,000,000	29,000,000	8,009,635	50,509,635	50,509,635

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品……最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後に取

得した建物付属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法

無形固定資産……定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額……21,464,773円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数…1,000株

②当事業年度末日における自己株式の数………0株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分にに関する事項

令和6年6月4日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

退職給付積立金の積立額…1,500,000円

別途積立金の積立額………4,500,000円

次期繰越利益剰余金………2,009,635円

4. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たりの純資産額………100,509円63銭

1 株当たりの当期純利益金……6,738円11銭

監 査 報 告

私監査役は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの
第20期事業年度の貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、
事業報告及び付属明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和6年5月14日

監査役 米 田 紀 子

監査役 守 本 徹 宏

第21期事業計画及び予定損益計画

1.事業計画

経営方針

すべては、お客様の「また来るよ」のために

経営戦略

危機管理

戦略的経営改善

人材育成

健康管理

予算計画

総売上	419,027千円（前期実績	391,313 千円、	27,714 千円）
営業利益	22千円（前期実績	2,513 千円、	△2,491 千円）
純利益	399千円（前期実績	6,738 千円、	△6,339 千円）

各部門のテーマ

宿泊 但馬トップクラスのお宿を目指します

売店 毎回楽しめて飽きない売れる売店づくりを目指します

温泉 お祭り感溢れる温泉テーマパークを目指します

自然の郷 プラスアウトドア層の取り込みで稼働アップを目指します

アウトドア キャンプの稼働アップを目指します

管理 全社員の働きがいを見出し目標意識の向上を目指します

経営方針及び経営戦略に沿って各部門のテーマを実行し顧客満足度を高め予算達成できるよう役員、社員一丸となり取り組んでまいります。

株主様をはじめ、皆様方の格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2. 予定損益計画

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

科 目		金 額	
【経常利益の部】			千円
(営業損益の部)			
【売上高】			
売上高		419,027	
			419,027
【売上原価】			
期首棚卸高		2,108	
仕入高		142,682	
合 計		144,790	
期末棚卸高		2,108	142,682
売上総利益			276,345
【販売費及び一般管理費】			276,323
営業利益			22
(営業外損益の部)			
【営業外収益】			
受取利息		5	
雑収入		588	
営業外費用		216	377
純 利 益			399

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

科 目				金 額
				千円
役 員 報 酬				6,600
給 料 手 当				99,819
法 定 福 利 費				16,459
福 利 厚 生 費				2,885
シ ル バ ー 委 託 費				9,009
広 告 宣 伝 費				3,352
運 賃				120
サ ー ビ ス 費				3,029
燃 料 費				16,932
衛 生 費				13,828
リ ー ス 料				149
外 注 費				20,173
水 道 光 熱 費				23,497
事 務 費				1,693
消 耗 品 費				4,610
支 払 保 険 料				692
修 繕 費				14,195
租 税 公 課				11,733
減 価 償 却 費				2,880
接 待 交 際 費				421
旅 費 交 通 費				120
通 信 費				1,009
支 払 手 数 料				16,913
賃 借 料				3,288
諸 会 費				423
購 読 費				62
地 代 家 賃				756
雑 費				1,676
合 計				276,323